土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

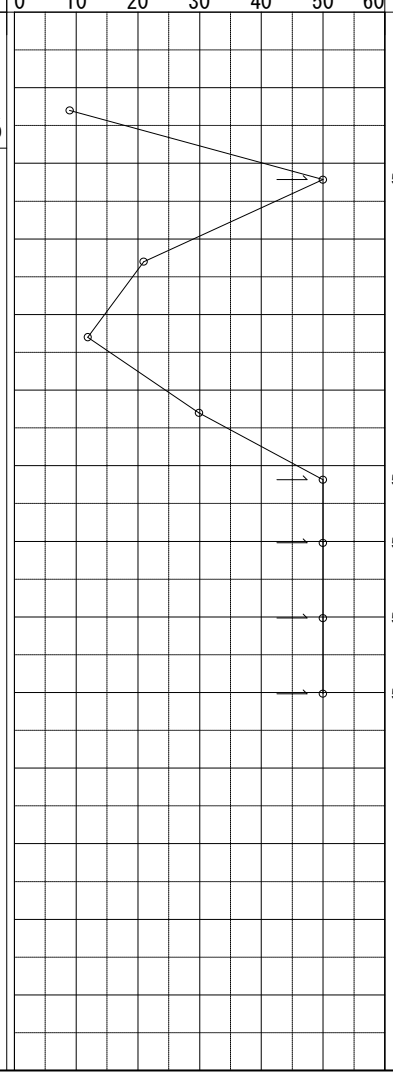
調査名	一級河川　太田川水系　三篠川　災害復旧助成事業に係る詳細設計業務(その5)
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	河川　護岸

ボーリング名	No.5-1	調査位置	広島市安佐北区　白木町　井原地先　(4工区　No.140+12.0)			北緯	34° 34’ 20.4210″
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和2年 6月23日～ 令和2年 6月24日	東経	132° 40’ 09.9250″
調査業者名	復建調査設計株式会社 電　話 082-506-1833	主任技師	光本　恵美 地質調査技士登録番号：	現場代理人	品川　徹次 地質調査技士登録番号：第06274号	コア鑑定者	光本　恵美 地質調査技士登録番号：
ボーリング責任者	向井　太 地質調査技士登録番号：第14448号						
孔口標高	132.47m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	9.00m	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-1型				
			エンジン：ヤンマーディゼルNFD-12		ポンプ：東邦地下工機BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				粘性土質礫質砂		茶褐	rd2		GL-0.3mまで植物根を含む表土。 砂は、中～粗砂主体とする。 礫は、φ2mm～30mm程度の亜円礫～円礫である。	6/24 1.80
2	130.17	2.30		玉石混り砂礫					硬質な玉石を含む砂礫。 砂は細～中砂主体である。	
3	129.67	2.80		粘板岩		茶～茶褐			風化した粘板岩。 GL-5.85m以浅は、風化により、主に砂状～岩片状を呈し、岩組織がやや不明瞭である。 GL-5.85m以深は、岩組織が明瞭で、ハンマーの軽打で岩片状に割れる程度の硬さである。	
4										
5										
6						灰～黒				
7										
8										
9	123.47	9.00								
10										
11										
12										
13										
14										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	1	1	7	9/300		
	1.45						
50以上	2.15	7	43/30		50/130	130	
	2.28						
21	3.15	4	7	10	21/300		
	3.45						
12	4.15	3	4	5	12/300		
	4.45						
30	5.15	10	10	10	30/300		
	5.45						
50以上	6.10	27	23/70		50/170	170	
	6.27						
50以上	7.00	50/40			50/40	40	
	7.04						
50以上	8.00	50/30			50/30	30	
	8.03						
50以上	9.00	50/30			50/30	30	
	9.03						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.15	P5-1-1	⊖	密度 含水量 粒度	
1.45				
2.15	P5-1-2	⊖	密度 含水量 粒度	
2.28				
3.15	P5-1-3	⊖	密度 含水量 粒度	
3.45				
4.15	P5-1-4	⊖	密度 含水量 粒度	
4.45				6/23
5.15	P5-1-5	⊖	密度 含水量 粒度	
5.45				6/24